

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	当院における腹会陰式直腸切断術後の会陰ヘルニアの検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	((所属) 外科学講座 (職名) 講師 (氏名) 松村卓樹
研究の対象となる方	2018年1月から2030年12月までの間に、当院で腹会陰式直腸切断術を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2031年4月30日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>腹会陰式直腸切断術後には肛門閉鎖部から腸管が脱出し皮膚が傍隆する会陰ヘルニアが一定数発生します。修復には手術が必要ですが、経過観察されることも多く、QOLの低下につながります。そこで、当院における会陰ヘルニアの現状を把握し、危険因子を検討することで、ヘルニア発生の予防に努める目的です。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>本研究では、患者さんの診療情報(年齢、性別、手術内容、手術時間、出血量、術前化学療法/放射線療法の有無、合併症の有無、再発の有無など)を電子カルテや手術記録から抽出し、個人が特定できない状態にした上で集計・解析します。集計結果は学会発表や論文投稿などで公表する可能性があります。集計結果は学会発表や論文投稿などで公表する可能性がありますが、いずれの場合も個人が特定される情報は一切含まれません。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、手術内容、手術時間、出血量、合併症の有無などを収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2031年3月31日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：(職名) 講師 (氏名) 松村卓樹 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)